|  |  |
| --- | --- |
| **30**（月） | のをえる |
|  | **使16章6～10節**　その、パウロはをた。のマケドニアがって、「マケドニアにってて、たちをけてください」とするのであった。(9) |
|  | まことのだけがない３が、アメリカとヨーロッパをしています。するはをっています。ところが、たちはひとつもれずにいます。さらに、いまあるもをざすようにまでなっています。このようなとき、Remnantは、パウロがしげたつをましょう。つ、をぐです。パウロはしにくに、にのきからけました。パウロがったところのはかれました。そして、がみをけました。つ、のをえるターニングポイントです。パウロがアジアにこうとしたとき、がをめられました。それは、よりいことをえてくださるためでした。パウロは、のきをけてマケドニアにきました。そこでのリディアにい、につかれたをやしました。つ、のにくRemnantをてました。パウロは、でになぜキリスト、とり、のでなければならないのかをえました。のであるローマにをしするためです。Remnantはをかすがつをりましょう。これがRemnantのをえるになるでしょう。 |
|  | 2024.02.25.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | がの「」をしてされる「のみことば」はかなＱ1.、するとえてくださるのをすべてこうがのの「」にどんなをっておられるのかしてのをもうＱ2.「のみことば」は、なんだったかな、いてみよう |
|  | 「のみことば」で24するのりのをしよう、たましい、え、からだがワンネス(oneness)になるようにしよう。

|  |  |
| --- | --- |
| すう：（　　　　） |  |
| める：（　　　） |  |
| はく：（　　　　） |  |

 |
|  | 、のについて、みことばと、そしていろいろなメディアをしてすることにしましょう。にするのをしましょう。＊の：＊についてするみことば：＊についてしたやメディア： |
|  | 、のをえるなをしますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン |

|  |  |
| --- | --- |
| **1**（火） | やぐらのモデル |
|  | **使10章45節**　をけているで、ペテロとにたたちは、にものががれたことにいた。 |
|  | Remnantはのをわうりをめましょう。すると、やぐらがちます。このときから、うがでかされます。まわりのだちも、さんをて、やぐらをてたいとうでしょう。このようなやぐらのモデルになろうとするなら、にっておくことがあります。つ、りでやぐらをてたのがいます。モーセ、ヨシュア、カレブ、ダビデ、コルネリウスは、みんなりのモデルでした。そのでコルネリウスはローマのの\*でした。はいつもにるでした。それゆえ、のにがかれたとされています。つ、コルネリウスにえられたやぐらがあります。それは、わざわいをめるであるキリストとの、そして、のである、ただです。つ、たちのはです。ですから、やぐらをてれば、をかすモデルのえをけます。のがらないとのをつにつもけるでしょう。すると、がえてくださるによって、くのをけるようになります。そして、たましいとからだにもがえられます。Remnantはいつもりでをかすをしましょう。にがえられるえがるでしょう。\*ローマので100のをいるのことをいます。 |
|  | 2023.10.07.第20次2023世界軍宣教大会1講 |
|  | のことをどおりにしてみましょう1.のをんでしよう2.そして、タイトルをんでみよう。が、なぜこのタイトルをくださったのか、えてみよう |
|  | 今日、にとどめた「のみことば」はかな。「のみことば」からりのをいてにってみよう |
|  | のでやぐらのモデルとしてについてえてみよう。にけたさなをしてみよう＊の：＊やぐらのモデルとしてにけたさな |
|  | 、でりのやぐらをてるやぐらのモデルとしてえられますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン |

|  |  |
| --- | --- |
| **２**（水） | のやぐらのモデル |
|  | **使19章21節**　これらのことがあった、パウロはにされ、マケドニアとアカイアをってエルサレムにくことにした。そして、「はそこにってから、ローマもなければならない」とった。 |
|  | Remnantはのをってのをむ\*です。それゆえ、のやぐらをてればいのです。パウロは、いろいろなにをえたのですが、にこうとしていたはローマでした。そのときのローマは、のだったので、すべてのにをえていました。Remnantも、どこにってもをしましょう。そして、どんなをしても、そのことのがなのかをましょう。Remnantがく\*のには、かにえられた、、がいます。また、んでいるにをってましょう。いがあるならば、どれくらいの、そのにうことができるのかをえてけてあげましょう。このをっているなら、なりとやぐら、がてるでしょう。つ、と、をする、のりをするようになります。つ、のをむときは、くのことがこり、くのにいます。そこにがいなくなってもかまわないように、やぐらをててきましょう。つ、のはローマです。それゆえ、がにやぐらをって、のやぐらをるのです。Remnantはののでをかすやぐらをりましょう。\*にをって、としてきるをします。\*あるにくとき、ってくやをします。 |
|  | 2023.10.07 2023世界軍宣教大会2講 |
|  |
|  | のことをどおりにしてみましょう1.ののスケジュールをこう2.スケジュールのでにえてほしいことがありますか。いてみよう3.のとタイトルをもう4.は、にをっておられるのかな。いてみよう |
|  | のをんでけた「のみことば」をもってのやぐらとして24りのをしよう

|  |  |
| --- | --- |
| のみことば | のやぐらとして24りの |
|  |  |

 |
|  | のでどんなプラットフォームがかなのをおいて、プラットフォームについてえてみよう＊の＊そののためになプラットフォームはなにかな |
|  | きておられる、のやぐらをてるをりますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン |

|  |  |
| --- | --- |
| **３**（木） | のやぐら |
|  | **使27章24節**　こうったのです。『れることはありません、パウロよ。あなたはずカエサルのにちます。なさい。はしているたちを、みなあなたにえておられます。』 |
|  | Remnantはがることができるのやぐらをてましょう。のをわうりをめましょう。すると、やぐらがって、それががわれるやぐらになります。では、Remnantがやぐらをるはなんでしょうか。つ、になっているからです。は、やのではできません。パウロがローマにくのでにあいました。そのとき、は、パウロがえるのみことばをきませんでした。ににわれているも、はのみことばをきません。つ、わざわいであるからです。わざわいをめることができなければ、にがってしまうでしょう。のようなも、ものすごくえます。Remnantは、ここにえをえるのです。つ、つのをるためです。237かのにやしメッセージをえて、エリートになるようにけてあげましょう。のをしてするはのエリートです。ヨセフのように、くごとにをかすエリートになるようにけましょう。Remnantはりでやぐらをてましょう。やぐらとつのをるをあらかじめめましょう。 |
|  | 2023.10.07.世界軍宣教大会3講 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | のことをどおりにしてみましょう1.のをもう2.がなぜこのタイトルをえられたのかな。いてみよう3.のをんで、にえられた「ひとつの」または「」をしてみよう |
|  | のをんでけた「のみことば」をもって「25」のえをけるだけのりのをしよう |
|  | のでどんなやぐらがかなのについてやぐらをえてみよう＊の＊そののためになやぐらはなにかな |
|  | 、、わざわいにえをって、わざわいをめるをしますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン |

|  |  |
| --- | --- |
| **４**（金） | やしのやぐら |
|  | **使19章8節**　パウロはにって、かのにり、のについてじて、をしようとめた。 |
|  | のには、にしんでいるがくいます。それゆえ、Remnantは、やしのやぐらをてましょう。からがくださったのをわうりをめましょう。やぐらがつまで、ちむことなくけていれば、やしのえをつでしょう。つ、でやしのまりをましょう。それがつの\*しるべです。131から4と166から10、191から7をしてみましょう。すると、やしがどのようにまったかをることができます。つ、やしのをましょう。は、ほかのがないので、シャーマニズムとい、にるしかありません。これをやしてあげましょう。つ、やしにはがあります。それがです。パウロは、くごとにある\*をねてって、キリストのをしました。キリストのをしたとは、イエスこそがキリストだということをししたのです。キリストはしみをうけ、のからよみがえらなければならないことを、のことだとにえました。そして、りとのについてもえました。Remnantはやしのえをってやぐらをてるをめましょう。\*しるべ：あるまでのやをえるをします。\*：ユダヤのいののことです。そこでと、などをしました。 |
|  | 2023.10.07.世界軍宣教大会4講 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | のことをどおりにしてみましょう1.のをんでしよう2.が、なぜこのタイトルをくださったのか、えてみよう3.のをんで、は、なぜにこのみことばをくださったのかな、えていてみよう4.がにくださるのみことばを心にとどめよう。 |
|  | のをんでにとどめた「のみことば」を「」のえをけるだけのりのにしよう。＊のみことば：＊のえをけるだけのりの |
|  | 、のにはどんなやしのやぐらがかな。ののやしのやぐらについてえてみよう。＊の：＊そこでのでなやしのやぐらはなにかな |
|  | 、でやしのやぐらをてるモデルとしてえられますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン |

|  |  |
| --- | --- |
| **５**（土） | やぐら |
|  | **使1章1～14節、11章19節、ロマ16章25～27節**　イエスはしみをけた、くのかなをもって、ごがきていることをたちにされた。にわたってらにれ、ののことをられた。（使1:3） |
|  | 、のはサタンのやぐらとサタンののやぐら、のやぐらでいっぱいになっています。はRemnantをりとしてばれました。いまはりでやぐらをてて、をかしましょう。Remnantは、どのようにやぐらをるのでしょうか。つ、プラットフォームをりましょう。がえてくださったがにむようにりましょう。そして、237かのとRemnant、になっているがて、やされるをしましょう。すると、がくださったをって、がいてくださるをくようになります。ずのきのしるべにって、えをけるでしょう。つ、プラットフォームがられれば、ののことがかるがてます。そして、をかすシステムがてます。すると、ずくにあうようになります。、プラットフォームとりは、がえてくださるりののからてます。このときから、みことばのもてます。そしてになります。これをアンテナといます。Remnantはと、に、やぐらをてるりのをちましょう。そのがのリズムになるようにしてみましょう。 |
|  | 2023.10.4.2023日本伝道集会1講 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | のことをどおりにしてみましょう1.をはじめるまえに、にしたいことはありますか。いてみよう 2. のとタイトルをんでしよう3.のをんで、、のにがくださったえをこう |
|  | のみことばをってをしてみよう。ので、、、はあったかな。そのことをしてがなさったことをいてみよう

|  |  |
| --- | --- |
| の、、 | のみことばをもってそれをしてがなさったこと |
|  |  |

 |
|  | のでどんなやぐらがされるのかな。のでのやぐらをてみよう。＊の＊されるやぐら |
|  | 、やぐらでをかすRemnantのがまりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン |